

第4章 今後の課題

平成20年度においては、「沖縄型カジノ・エンターテイメントモデル及びコンセプト」「カジノ・エンターテイメントの経済波及効果」「カジノ・エンターテイメント導入に伴う懸念事項への対処（県民の入場規制を含む。）」の検討を中心とし、海外事例視察による現状把握やシンポジウムの開催により県民への周知を図ってきた。

今後は、今年度の検討を基にさらに具体的な議論へと展開していくために、次のような課題が挙げられる。

(1) 県民議論への発展

これまで、カジノ施設に関するイメージ（規模・構成・内容・コンセプト）が県民各層で異なり、議論を具体化するモデルの検討が必要とされてきた。

今年度の検討においては、カジノ・エンターテイメントのコンセプトとして、「沖縄統合リゾートモデル」という名称を付し、幅広いエンターテイメント機能の構成など、イメージ作りとともに、「経済効果の分析」や「懸念事項への対処」など、導入後の効果や基本的な考え方などについても検討を重ねてきた。今後はこれらを一つのモデルとして、県民の議論を活発化、集約化していくことが必要である。

(2) 県民への広報・周知の推進

今年度においては、『シンポジウム「カジノ・エンターテイメントの動向」』を開催し、カジノ・エンターテイメントの現状について県民にお知らせした。

今後においても、さらに県民の身近な議論へと展開していくよう、平成19年度と今年度のカジノ・エンターテイメント検討事業の成果（調査報告書等）や海外の最新動向の情報を用い、カジノ・エンターテイメントの現状を地域毎の報告会や各種広報媒体を通して、周知を図っていくことが必要である。

また、県民がカジノ・エンターテイメントについての情報を手軽に入手しやすいように、専用のホームページを作成するなどして、よりわかりやすく豊富な情報を提供していくなど整備が必要である。

(3) 最新動向の把握

カジノ・エンターテイメントの導入にあたって、国等関係機関においては、法制度などの検討を進めている。

また、海外、特にアジア地域では、海外観光客の誘致に向けて、カジノ・エンターテイメントの動向が活発化している。これらの最新動向を正確にかつ迅速に把握しておく必要がある。